

2020年度 第4回CSR委員会 議事録

日 時 2021年1月25日(月) 13:30~17:00
 会 場 Web会議
 出席者 19名

(敬称略)

| ブロック | 委員名 | ブロック | | 委員名 | ブロック | | 委員名 |
|------|--------|------|---|--------|------|---|-------|
| 東京 | 廣瀬 城児 | 南関東 | | 丹沢 悟 | 東中国 | ○ | 山田 眞理 |
| 北海道 | 池田 壮 | 東京 | ○ | 三浦 起世光 | 西中国 | | 青木 道男 |
| 北東北 | 小笠原 裕司 | 東海 | | 伊藤 準 | 四国 | | 平岡 佳展 |
| 南東北 | 沓澤 六雄 | 北陸 | | 宮下 正 | 九州北 | | 三浦 文義 |
| 上信越 | 桐島 航平 | 近畿 | | 松田 時典 | 九州南 | | 植村 敬子 |
| 東関東 | 岩崎 栄 | 阪神 | | 西川 秀俊 | | | |

<事務局> 専務理事:野元 敏昭、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○:副委員長

<委員会での決定事項>

- ・「ぼうさい探検隊」の要望事項について、損保協会に申し出、フィードバックしてもらう。
- ・BCP推進はセミナー開催で趣旨を伝えまずは会員が策定する。ハザードマップ活用は勉強会を開催する。
- ・次年度のCSR活動(コロナ禍でも出来る活動)につき意見を direct にアップする。

議 事

・挨拶

1. 廣瀬委員長挨拶

- ・前回から4か月経ちますが、コロナの影響でなかなかリアルでの委員会を開催することができない状況が続いています。ワクチン接種が進み状況が改善することを強く望みますが、現状ではまだ難しいと推察されます。皆さんと実際に集まれる時までWeb会議、意見交換会、directでのコミュニケーションをとりながら、今できることを共有して進めていきたいと思っております。
- ・ぼうさい探検隊については、皆さんのおかげで無事終了しキッズリスクアドバイザー賞に岡山県 宇野小学校 原尾島チームが入選し、16作品が佳作に選ばれました。
- ・本年度の表彰式は損保会館では行わず1/22に損保協会HPに入賞作品への講評が配信されてますので視聴してください。また、参加賞も12色クレヨンを各代協に送付しているので参加小学生に配ってください。
- ・CSR委員のメンバーがdirectでセミナーの情報を入手して、それぞれ参加していると聞いております。とても良いことだと思うので是非これからも情報共有して積極的に各代協のセミナーに参加してください。
- ・本日は、ぼうさい探検隊の総括・次年度取組みについて、BCP・ハザードマップの推進、サイバーセキュリティ対策、次年度CSR活動の課題について議論していきますので、積極的に発言してください。
- ・皆さんは各ブロックの代表として参加いただいているので、各代協にしっかり情報を伝えて下さい。

2. 横山副会長メッセージ

横山副会長からのCSR委員向けメッセージを代読した。

- ・本日、CSR委員会にご出席いただきました委員の皆さまには、常日頃から日本代協の諸活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

- ・昨年の今頃は、中国・武漢市で新型コロナウイルス(COVID - 19)の発症例が報告されてから、瞬く間に感染が広がりを見せているという報道がながれていたかと記憶しています。この時点では、まだ感染の脅威をどこまで感じられていましたでしょうか。
- ・瞬く間に世界に広がり、国内では4月の緊急事態宣言の措置の甲斐なく第二波、そして第三波と押し寄せ、その脅威は留まるところを知りません。「ニューノーマル」「ウィズ・コロナ」の言葉が常態化し、そして、連日、多くの方がこのウイルスの犠牲になっている世の中の姿を、昨年の今頃、イメージできていたでしょうか。自然災害と対処できない有害な物質の前に、人間の無力さを感じずにはられません。!
- ・さて、CSR委員会も今年度4回目のWeb会議となります。年度の活動を総括し、そして次年度へ向けて課題を浮き彫りにして、事業を継続していくための会議と位置付けられています。
- ・その意味で、とても大事な委員会会議であることは承知しておりますが、昨年より予定しておりました用件があり、やむなく今回の会議を失礼させていただくこととなりました。廣瀬委員長をはじめ、委員の皆さまにはお詫びを申し上げますとともに、何卒お許しいただきたく存じます。
- ・CSR委員会は、皆さんもご承知の通り、二十二年前の平成十年二月に立ち上げた地球環境問題研究会が基礎となり、その後、組織として社会的使命・責任を果たす一環と位置付けて、この委員会の活動を展開してきました。
- ・その活動、「ぼうさい探検隊」「子ども110番」「交通安全啓発活動」等を通じて、防災・減災・防犯について、地域の自治体や損保協会等の団体との連携を取りながら、各代協様の諸活動の推進役、いわばヘッドクォーターとしてCSR委員会は、その役割を果たして参りました。
- ・「ぼうさい探検隊」の実施については、このコロナ禍にありながら、42都道府県代協の紹介経由で、138団体、1,473名が参加して243マップの応募があり、一定の成果を得られました。各代協のCSR委員の皆さまのご尽力あっての成果であったと認識しております。この異例の事態の中で実施できたことの報告を本日持ち寄って、総括していただき、この、“良き前例”を将来の事業展開の糧としていただきたいと思います。
- ・新型コロナウイルスが世の中の景色を変えてしまいましたが、新たなリスクに対して私たち保険に携わる者は、手をこまねいてばかりもられません。ここ数年、甚大な被害を引き起こしてきた風水災や地震などの自然災害に加え、パンデミックの脅威が襲ってきても、経済活動を継続できる仕組みを平時から備える、そして、人間の力が及ばない脅威には保険の力で早期の復興、復旧を目指す世の中でなければなりません。我々保険代理店がBCP(事業継続計画)に対して積極的に取り入れ、そして地域社会への浸透を促進すること、今年度は各ブロックにおいてその活動に取り組んでいただきました。
- ・また、人類が新型コロナウイルスの脅威に晒される一方で、リモートワークが増える中、パソコンやネットワークなどへの脅威による損害も増大しています。そのため、今年度はサイバー攻撃に対する正しい理解と対処について代協として取り組んでいただきました。
- ・昨年、交通事故死が過去最少の2,939人(警察庁発表)で三千人を下回るのは、統計が残る1948年以降初めてということです。巣ごもりで外出を自粛する人が多くなったこともあるでしょう。道路交通環境の整備交通安全思想の普及徹底、車両の安全性の確保も要因として挙げられます。それでも人間の操縦を必要とする移動手段である以上、リスクは皆無になり得ません。安全な地域社会づくりこそ、リスクの対応に精通している我々損害保険だいたいりが、果たすべき役割はここにあります。これからも安全運転の啓発活動や、無保険車撲滅を声高に唱えていくことも必要ではないでしょうか。
- ・今年度の事業を総括していただき、次年度の活動につなげるためにも各委員の積極的なご発言、そして情報提供をお願いいたします。各ブロックに戻られましたら、各代協にしっかりご報告いただき、日本代協の活動方針に沿いながら、各代協の創意工夫で事業をさらに活性化されますことを期待しております。
- ・拙文にて甚だ恐縮ではございますが、今年度の最後の最後まで、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

3. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に山田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。
- ・九州南 高橋委員の後任として植村委員が着任挨拶を行った。

・報告事項・情報共有

1. 理事会・全国会長懇談会報告

廣瀬委員長より、配布した第6回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・事前に各都道府県代協より提出された2021年度日本代協事業計画の提言につき承認され、次回理事会の審議事案に入れる。
- ・仲間づくり推進の起爆剤として「入会目標達成キャンペーン」と「年度通算の減店脱却キャンペーン」の実施が承認された。
- ・日本代協コンベンションで実施予定であった会員懇談会の質問事項の回答案につき、承認された(質問・回答は日本代協HP 会員専用書庫 参照)。
- ・2021年度第39次PIASの中止が承認された。
- ・全国社労士会連合会と連携し、「社労士診断認証制度」の活用に積極的に取り組むことが承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員長より報告があった。

2. 正副会長・各委員長打合せ報告、前回委員会振り返り

廣瀬委員長より、12/9に開催された正副会長と各委員長の打合せ報告が行われた。

- ・今年度諮問事項の進捗と反省点、次年度に向けての課題について情報共有を中心に行った。
- ・CSR委員会には、防災・減災の取組み、地震保険の情宣、ぼうさい探検隊の活動、ハザードマップの普及を行うことを課題とし、ほぼ今年度の取組みを踏襲する予定。
- ・正式には2月の理事会で審議されます。

配布した第4回CSR委員会議事録の内容に沿って振り返りが行われた。

・審議事項

1. ぼうさい探検隊の取組み

17回マップコンクールの振り返りを行った。

今年度は243マップ、138団体、1,473名が参加した。うち入賞1作品、佳作16作品が選出された。

(主な意見)

- ・昨年度参加された団体もコロナの影響で参加できず苦労した。
- ・家族単位の少人数での取組みを推進し(会員家族中心)、タブレットが有効だった。
- ・タブレットのサポート対応が分かりやすく助かった。
- ・タブレットはマップを何枚も印刷できるので関係団体に配布出来て便利だった。
- ・小学生が活動している写真をブロック内で共有し情宣した。
- ・山田副委員長から入賞した「原尾島チーム」の取組み経緯・背景を報告した。
- ・CSR委員が熱意をもって各会議体で推進を依頼し続けた。

- ・今年度参加団体にはお礼状(廣瀬委員長作成)を持参し次年度の参加も依頼。
- ・学校の授業の一環として行う予定だったがコロナで断念、全国的に広められれば良いと思う。

次年度を進め方・要望

(主な意見)

- ・タブレット活用方法の動画があれば便利である(送信できず断念した団体もあった)。
- ・表彰の基準(現物・タブレット)が早い段階でわかればありがたい。
- ・タブレット待ち時間を無くすために、アプリから参加できれば活動が広がるのではないか。
- ・タブレットでも立体的(標高差がわかるような)なマップが作成できれば良いのではないか。
- ・タブレット活用の事前研修を行うと良い(損保協会HPで実施例掲載されている)と思う。
- ・防犯の観点から中学生1年生も(アドバイザーとして)含められないのか。
- ・学校行事として行うには、2月中旬ぐらいまでに次年度の案内(例年4月以降)がもらえれば助かる。

以上意見・要望を取り纏め事務局から損保協会に提出、フィードバックすることとした。

2. 各ブロック独自活動状況

事前に提出された活動チェックシートに基き各ブロックより独自活動の報告があった。

(北海道)

- ・9支部全支部でタオルボランティアを実施できた。老人施設等へ10~1,000本の寄付を行っている。
- ・函館では200本を5施設に寄付、地元新聞にも掲載され認知度が上がっている。
- ・各支部でチャリティ活動を行い、函館では寄附金をハザードマップ作成資金に充ててもらおうようアピール。

(北東北)

- ・秋田では損害保険をテーマにしたラジオ番組に出演し活動をアピール。
- ・岩手では2校で出前講座開催、今後1校予定している。
- ・青森では2会場で「子供・女性スキルアップ研修」実施。

(南東北)

- ・県単位での活動ができなかったが、各支部で活動。
- ・各県清掃活動、支部活動が多かった。

(上信越)

- ・大きく活動できていないが人数を絞って活動した。
- ・無保険車追放運動を新潟では大学にチラシを設置配布した。

(東関東)

- ・ほとんどの活動が中止となってしまった。
- ・子ども110番登録を推進した(埼玉)。

(南関東)

- ・山梨では、高校出前講座を予定(学校行事になっているので派遣人数を最低限に抑える)

(東京)

- ・清掃活動は人数を絞って実施。
- ・公開セミナーを YouTube で配信し今後も続くだろう。
- ・消費者団体との懇談会では特定修理業者について話題となった。

(東海)

- ・静岡は、ぼうさい探検隊推進を会員に徹底
- ・豊川稲荷清掃(愛知)は人数を 100 人に限定し実施。
- ・三重県では地震保険普及キャンペーン広告を新聞紙上に掲載した。

(北陸)

- ・3 県とも清掃活動を予定していたが中止。
- ・富山、福井では献血活動の際に地震保険・無保険車追放のチラシを配布。
- ・福井では出前講座をDVD作成し配布予定。

(近畿)

- ・それぞれ十分な活動できず。
- ・献血活動を 3 月に予定している。
- ・近畿ブロックで地震セミナーを期間限定で YouTube に期間限定で配信。

(阪神)

- ・緊急事態宣言下でできた活動(三密を避けた活動)は次年度以降にもつながる活動と認識。
- ・セミナー運営を積極的に取り入れる。
- ・大阪代協HPにはCSR活動状況を掲載しているので見てください。

(東中国)

- ・岡山では、人数を減らし清掃、AED講習を実施。
- ・鳥取では、車いす、ベビーカー贈呈
- ・鳥根のヨシ刈り取りボランティアを 3 月に予定。
- ・献血は会場確保できず、チラシを作成し市内の献血ルームへ持参してもらうよう誘導した(100名)。

(西中国)

- ・両県清掃活動は人数を減らして実施(平和公園は市のイベントが中止となっているので清掃も中止)。
- ・献血は会員が参加(広島)、山口は献血バスの支援を実施。

(四国)

- ・4 県で活動できているのは高知での清掃活動のみ。

(九州北)

- ・福岡では、人数を減らし定期的に清掃活動を実施。
- ・福岡での献血活動は独自チラシを作成し献血ルーム・バスでの献血を働きかけ。
- ・大分は、県代協としてBCP策定検討中。
- ・自転車保険の条例をテーマに出前授業を検討中。
- ・長崎はDRP入庫でワンコインキャンペーン実施、寄付先を検討中。

(九州南)

- ・沖縄、BCPセミナー実施。
- ・鹿児島、献血予定。
- ・熊本、交通遺児募金活動実施中、年度末の贈呈式に参加予定。

3. 防災・減災の具体的な取組み

BCPセミナーの開催状況を確認した。

(広島)

- ・参加者がWeb31名、会場25名と少ない気がしたが準備に手間取り案内が遅れてしまった。
- ・頭の中では理解していたが、実務的なことまで理解できた。
- ・3月の理事会で広島県代協のBCP策定を決議予定。

(四国)

- ・4県合同セミナー開催を調整中。

(廣瀬委員長より)

- ・BCPセミナーは2年かけて全代協で開催する計画になっていますが、WEB環境によって1代協ではなく、共同開催も考えてこれからどのように開催していくか、配信済のハザードマップ活用ガイドをどのように展開していくかを討議してください。

(野元専務より)

- ・BCPセミナーは代協会員にBCPを策定してもらうために開催しているのだが、オンラインでの開催であり事前に資料を提供して共有するのでそれほど難しくはないと思われます。今年25回、来年25回の開催を予定していますが、今年は開始がずれてしまい13回くらいを考えています。セミナー自体はサポートデスクで行っているので皆さんは推進の声掛けをしていただきたい。
- ・問題は、会員の皆様にどんな形態であれBCPを作ってもらいたい。それは、金融庁はBCPが無いのは体制整備が不十分だと言っていますし、今後BCPとサイバーセキュリティは代理店の委託に入ってくる可能性が高いからです。
- ・CSRの問題としては、そこで学んだ知識を地元の中小企業に伝えてもらいたいというのが本来の目的なのでそこに繋げるための自社のBCP策定です。
- ・ハザードマップについても同様で、まずは、自身の周辺のハザードマップを確認していただき、お客さまに使い方を伝えて社会貢献に繋げていきたいという事です。ハザードマップは損保協会の発言の中でも日本代協に協力してもらおうと明言されており、強く期待されています。また、国土交通省からもハザードマップの普及に協力依頼が来ていますので、これらを踏まえどうやって提供していくのかを討議してください。
- ・地域の中小企業に対して、国としては事業継続力強化計画の認定申請を求めており、BCPの策定された会員には申請のサポートもしておりますので考慮してください。
- ・ハザードマップの勉強会を支部単位でも構わないので皆様が講師となって行ってください。不動産業者では既にハザードマップを説明しています。
- ・今のハザードマップは100年に一回の災害を想定して作成されているが今後は1,000年に一回の災害を想定して見直さなければならないので自身のまわりから活用してください。
- ・BCPの第3弾として訓練編を作っています。

(主な意見)

- ・自店でも強化認定を受けて顧客にも提案しているので資料共有します。

BCPの推進はセミナー開催を積極的に働きかけ、ハザードマップ推進については勉強会を開催することにより講師をする会員含め、活用に幅が広がると思うので取組みを推進してください。

4. サイバーセキュリティ対策

(廣瀬委員長より)

- ・昨年末に警視庁からエモテットという攻撃メールが再び広がっているとの情報が案内されましたし、理事会の冒頭挨拶で金子会長も中小企業におけるサイバーセキュリティ対策が非常に遅れていると指摘しております。
- ・本日は、サイバーセキュリティ対策を推進していく上で、まずは直近で開催したセミナーの状況を聞かせていただきたい。

(徳島)

- ・1/15 新年賀詞交換会の基調講演として徳島県警に講師となって頂きました。
- ・エモテットが猛威を振るっていることに触れられ、メール送信されたワードファイルの「コンテンツの有効化」をクリックするだけで感染してしまうので注意するように指導された。
- ・また、IoT 機器(家電等)でもウイルス感染による情報流出が確認されているので注意を促された。
- ・コインパーキングに設置されている Wi-Fi ルーター経由での流出も確認されている。

(東京)

- ・2年ほど前から何回か開催しているが、まずは代理店自身がセキュリティ対策を行ったうえでお客さまへ情報提供、更にはサイバー保険を提案するように徹底された。
- ・2月のセミナーでは損保協会 業務企画部に講師を依頼しサイバー保険の内容について講義を受ける。

(奈良)

- ・2/10 インプリメント社 木村社長を講師に開催予定であり案内を direct にアップします。

委員の中でもサイバーセキュリティ対策を行っているメンバーが少なく、サイバー保険の加入、販売もできていないので、まずは自身が対策を講じることとなった。

5. CSR活動の次年度課題について

廣瀬委員長より次年度の取組みにつき説明(案)があった。

- ・次年度は今年度の取組みを基本踏襲したものになりますが、「ぼうさい探検隊」については今年皆さんが取組んでいただいたように家族単位等の少人数で早くから推進していく事が大事だと思います。また、今年度マップ提出が「0」だった代協も、本来の趣旨を理解して取組みを推進していただきたい。
- ・無保険車追放、地震保険普及活動については、このような状況では街頭での情宣活動は難しいと思うが、滋賀県では立命館大学や龍谷大学での無保険車追放取組みで成果が出ており大阪でも興味を示す大学が出てきております。
- ・キャンペーンの販促品についてはティッシュに拘らず皆さんから意見を direct にアップしてください。
- ・今年1年はコロナの影響で十分な活動ができませんでしたが、次年度はこのメンバーで今年度の状況を踏まえて知恵を出し合って活動していきましょう。

.その他・閉会

1. 情報提供

(野元専務より)

・昨年来、日本代協ニュースの情報版を発信しており、代理店内での勉強会で活用するなど好評をいただいております。世の中の動きとか、向かっていくベクトルとか、代理店経営上の気付き等を織り込んでいるつもりなので、お目通しいただき会員にも拡げて下さい。

2. 本日の到達点の確認

・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

以上

次回開催日 2021年4月14日(水) 13:30～17:00